

第 1 1 回住民・福祉・教育小委員会（議事概要）

日 時 平成 15 年 2 月 7 日（金） PM2：30～PM4：08

場 所 アグリセンター大宮

出席者数 13 人（欠席 1 人）

傍聴者数 2 人

主な議題

（1）協議第 1 号 19-16 各種社会福祉事業等の取扱い（その 6）

（2）協議第 2 号 19-20 学校教育の取扱い（その 5）

（3）協議第 3 号 19-22 社会教育の取扱い（その 6）

（4）次回の議題について

（5）次回の小委員会の予定

議事経緯

委員長あいさつ

会議成立確認

議事

（1）協議第 1 号 19-16 各種社会福祉事業等の取扱い（その 6）・・・確認

主な意見

委 員 身体障害者手帳の交付については、人口の多いところが多いということにはなっていないようだが、新市建設計画には地域的な特徴を把握した施策も必要と考え、高齢化の進んでいる町といった要因がわかるような、年齢的な分布についてはどうなっているか。

部 会 年齢別については後日提出したいが、要因については議論していない。

委 員 共同作業所について、峰山町や久美浜町には設置計画があると思うが、障害者計画の中ではどうなっているか。また、血液透析について、現在各町ではどのような補助をされているのか。

部 会 峰山町では、第 2 次総合計画という 5 カ年計画の中で整備をしていきたいということで、具体的な設置年度などは記載されていない。障害者計画の中にも、具体的には記載されていない。透析をされている方には、各町で公費負担以外に移送サービスや通院費用の一部補助などを実施しているが、各町で若干差異があり、現在調整中である。

（2）協議第 2 号 19-20 学校教育の取扱い（その 5）・・・確認

主な意見 特になし

(3) 協議第3号 19-22 社会教育の取扱い(その6)・・・確認

小委員会意見 丹後の文化というものを、小中学校の教育という観点も含め、地元の人に理解していただく環境作りに努められたい。加えて、観光への活用も検討されたい

主な意見

- 委員 新市建設計画策定小委員会では、観光交流振興の中の歴史と文化のまちづくりで資料館の設置についての話が出ていたが、調整案では網野町と丹後町にある施設を新市に引き継ぐということだが、もっと突っ込んだ内容とならないか。
- 委員 資料館については、観光という側面から考えるのか、教育という側面から考えるのかはっきりしていただきたい。
- 事務局 資料館については、丹後王国の文化を広く公開していくということから、新市建設計画の中では観光で触れているが、財政負担も考慮し検討中である。この小委員会では現在の施設を新市に引き継ぐとして、委員の意見は新市建設計画の中で出していきたい。
- 部会 資料館は学校教育に活用できるものということで考えている。部会では、ひとつの大きな新しい資料館がほしいという議論であったが、丹後には学術的な観点から価値の高いものが多く存在することから、仮に資料館ができれば観光にも役に立つのではと考える。
- 委員 久美浜町では、貴重な資料が学校や倉庫、共同作業所などに分散して保管されている。これを機会にひとつにまとめていただきたい。
- 委員 事業は単独で行うのではなく、歴史が観光につながるようなものを考えてほしい。また、丹後の歴史を学ぶ環境作りを考え、子供たちの親しみやすい建物を考えてもらいたい。
- 委員 観光で考えると、各町を回って歴史が勉強できるといったことも考えていただきたい。
- 委員 旅行で歴史や史跡をたずねる人はごく少数と考え、歴史を観光に使うのはむしろかしいと考える。資料館は、地域に住む人が自分たちの歴史を認識するためのもので、商売としてはなりたらず行政でやらないとできないと考える。
- 委員 資料館とは、自分たちの文化を大事にしようとする中で育まれていくもので、そうした中で交流が観光につながっていくと考え、新市建設計画の中では積極的な建設ということで進めていただきたい。
- 委員 丹後町の資料館は、入場料も安くとても採算は合わないが、いろいろな催しなどを実施しかなりの入場者がある。
- 委員 まず、現在ある施設を活用していくことを考える必要がある。
- 委員 歴史をたどれば丹後はひとつと考え、弥栄町・峰山町の境の大田南5号墳出土の「青龍三年鏡」など、現在各町から出土している貴重な遺物、そして現在までの

素晴らしい文化財を収納できる施設が、六町それぞれではなく新しい市にひとつ必要と考える。

委員長 丹後王国を誇りに思い、そのシンボリックな資料館の建設を、この小委員会として調整案に盛り込んでいったらどうか。

委員 この場では、丹後の文化財を保護し、社会教育施設として活用するということが大ききな議題だと考える。今、合併に際して特例債を使った各町の要望事業が検討されている中、ここで資料館の建設ということは言いづらいのではないか。

委員長 この小委員会の意見を、新市建設計画策定小委員会において、前向きに検討されるよう発言したい。

(4) 次回の議題について
協定項目の協議について

(5) 次回の小委員会の予定
第12回住民・福祉・教育小委員会
日時 平成15年2月20日(木)午後2時30分～
場所 弥栄町役場

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局
(速報のため、事後修正の可能性あり)